

全ての子どもたちに寄り添った教育を！



三浦ひらく

就学猶予制度
超低下出生体重児など支援を必要としている子どもは増加傾向にある。就学猶予制度適用等の当事者の希望にできる限り寄り添った措置が必要では。

答 早期からの教育相談・支援を行い、合意形成を図っていくことが重要。保護者の意見を聞くことは義務であり、可能な限り意向を尊重することが定められている。丁寧に対応していく。



超低下出生体重児とは1,000g未満で産まれた新生児

問 保護者が要請したにもかかわらず、不誠実だと思われる対応があった事実を把握している。適切な合意形成ができていないのか。

答 個々の教育ニーズに応じた多様な選択肢から最も適切な判断ができるよう、子どもや保護者の立場に寄り添いながら真摯に対応していく。

Q あの質問 その後どうなった! ?

みんちやい94号より (令和元年6月定例会)

故人の死亡届提出後の手続きをスムーズにするため「お悔やみの案内係」を設けては?

その時の答え → 住民サービスの向上のため前向きに検討したい。

その後の状況 ... 令和2年6月1日から、本庁舎1階7番窓口で亡くなられた市民の方に関する各種手続きをワンストップで行える「おくやみ窓口」を開設。(事前予約制)
おくやみ窓口では、遺族の負担を軽減するため、手続きに必要な書類を一つの窓口で用意し、手続きの簡略化とサポートに努めている。



請願審査
6月定例会では2件の請願が提出され審議を行いました。
請願第1号 津山市郊外の高速インターネット網に関する請願 ⇒ 採択
請願第2号 「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める」 ⇒ 継続審査
意見書採択を求める請願

私はこう考える

請願第2号を「継続審査」とすることに対する討論

美見みち子議員 被爆者の切なる願い

近年、日本を含む世界の情勢は核兵器を「悪魔の兵器」と断定し、核兵器そのものの禁止へ大きく舵が切られている中、被爆75周年を迎えた今年、被爆者の切なる願いに応え日本政府として調印し批准することが何よりも求められると考える。そのことから本請願を採択すべきと考えるため、継続審査とすることに反対する。

秋久憲司議員 安易な継続審査は避けるべき

委員長報告で「国の問題だから地方議会で扱う内容ではない」との意見があった」とあるが、これは地方議会の声を国に届ける意義を否定することである。また、議会では可否の判断をなるべく行うべきであり、安易に継続審査とすることは議会の機能低下を招くことから十分な議論を深め、結論を出してほしいので継続審査に反対する。

水道料金を減免・市民支援策へのメッセージ



日本共産党津山市議団



美見みち子 中村聖二郎

新型コロナウイルス対策

問 新型コロナウイルス被害から市民の暮らしを守る施策の一つとして、他市では水道基本料金の減免を行っている。県内では、総社市が4カ月無料化と聞いている。本市で基本料金を4カ月免除した場合

の減免額は。

答 約2億円の減免となる。

問 水道条例第30条で「管理者は、公益上その他特別の理由がある」と認めるときは料金等を減免できる」とある。現在の状況が特別の理由に値するのでは。

答 多額の減収を伴うことから、老朽化した施設の更新や、耐震化事業などへの影響も考慮しなければならぬため、慎重な判断が必要である。

問 水道料金減免が市民の暮らしを守り、この困難を市民の皆さんと一緒に乗り越えるというメッセージだとすれば水道局の収入減に対し、一般会計からの補填という措置で検討しては。

答 水道料金減免は、厚生労働省通知において、臨時交付金を活用した効果的な対策の一例と示されている。現在とりにかかっている補正予算編成を行う上で、参考としたい。

問 水道料金減免は、市長が「やりましょう」と言えば、市民の暮らしを守るメッセージになるのでは。

答 本市の実情を注視しながら判断していく。

問 水道料金減免は、市長が「やりましょう」と言えば、市民の暮らしを守るメッセージになるのでは。

答 本市の実情を注視しながら判断していく。

問 「学校再開に向けての留意事項」の中で、「人との間隔を約2メートル空け密接を避ける」とある。市内の各学校は「密接を避ける」教室になっているのか。

答 教室等では、座席間を離して着席するなど、児童生徒間の距離を1メートル程度離すよう配慮することとしている。距離の確保が難しい学級は、マスク着用とこまめな換気を徹底するよう指示している。



市民の暮らしを守る